

第2章

木津川市の教育をめぐる状況

第2章 木津川市の教育をめぐる状況

第1節 ふるさと木津川市

木津川市は、木津川の流れや美しい里山、多くの歴史的文化遺産など豊かな歴史や自然環境に恵まれ、また、国家的プロジェクトとして建設が進む関西文化学術研究都市を擁する魅力あるまちで、平成19年3月に木津町、加茂町、山城町が合併し、市制施行を行いました。

本市は、近畿のほぼ中央、京都府南部の山城地域に位置し、京都・大阪の中心部から約30km圏内にあります。北東部と南東部には山地が広がり、その間をぬって、木津川が中心部を東から西に、そして西端部で大きくカーブし、北へ向かって流れており、木津川に沿った地域に平野部が広がっています。

本市の歴史を遡ると、山城地域の中でも古くより開けたところです。奈良の平城京に都があった頃は、木津川の水運による交通の要衝や平城京を中心とする官道の沿線地域として発展しました。また、一時期、都「恭仁京」が置かれ、加茂地域に宮が設けられました。

このように、本市は、京都と奈良を結ぶ軸上にあって、都に関連の深い地域として、人、物、文化が盛んに往来し、個性豊かな文化、産業が進展してきました。

今日、関西文化学術研究都市の中核地である本市の平城・相楽地区及び木津地区では、約20社に及ぶ企業立地が進み、地域経済の活性化と雇用の創出などを通じて、市勢のさらなる発展に大きく寄与しています。

第2節 木津川市の教育等を取り巻く状況

(1) 人口等の状況

本市の平成25年3月末現在の人口総数は72,114人、世帯数は26,674世帯です。平成19年3月12日に木津川市が誕生した時点では、66,490人、22,991世帯でありましたが、この6年間で、5,624人、3,683世帯と急増しているところです。

また、年齢別人口構成では、平成19年3月の合併時点での15歳未満の人口は10,687人(16.05%)でありましたが、平成25年3月末現在では12,384人(17.17%)と、青少年の割合が高くなっています。

ます。

このように、全国的に少子高齢化が進行し、人口減少が懸念される中で、本市においては大規模な住宅開発などにより、府内においても他に例を見ないほど、人口は著しく増加している状況です。これに伴い、就学前児童数、児童・生徒数が年々増加しており、今後も増加の割合が高いものと考えられます。

○年齢別人口の動向

区分	15歳未満 人口	15歳以上65 歳未満人口	65歳以上 人口	合計
平成19年3月末	10,687 (16.05%)	44,841 (67.35%)	11,052 (16.60%)	66,580 (100%)
平成20年3月末	11,028 (16.29%)	45,118 (66.64%)	11,561 (17.07%)	67,707 (100%)
平成21年3月末	11,464 (16.63%)	45,320 (65.76%)	12,138 (17.61%)	68,922 (100%)
平成22年3月末	11,729 (16.81%)	45,475 (65.16%)	12,585 (18.03%)	69,789 (100%)
平成23年3月末	11,997 (16.95%)	45,775 (64.66%)	13,016 (18.39%)	70,788 (100%)
平成24年3月末	12,253 (17.13%)	45,627 (63.79%)	13,644 (19.08%)	71,524 (100%)
平成25年3月末	12,384 (17.17%)	45,214 (62.70%)	14,516 (20.13%)	72,114 (100%)

(資料：生活環境部市民年金課)

(2) 幼稚園、小学校及び中学校の状況

① 幼稚園の状況

平成25年5月1日現在、市内には市立幼稚園が3園あり、幼児数は587人（3歳児80人・4歳児262人・5歳児245人）、学級数は20学級となっています。

② 小学校の状況

平成25年5月1日現在、市内には12校の市立小学校があり、児童数は5,042人、学級数は189学級です。平成19年同期と比較すると、児童数で900人(21.7%)増、学級数で24学級(14.5%)増で、とりわけ木津南地区において著しい増加をみています。また、平成

26年4月には新たに城山台地区に1校開校します。

③ 中学校の状況

平成25年5月1日現在、市内には5校の市立中学校があり、生徒数は1,998人、学級数は64学級です。平成19年同期と比較すると、生徒数で364人(22.3%)増、学級数で10学級(18.5%)増となっています。小学校と同様、木津南地区において増加していることから、平成23年4月に1校開校しました。

このような小中学校の児童生徒数の増加傾向は、独立行政法人都市再生機構による大規模開発地域における本市での定住人口の流入が主因となっています。

今後においても、増加傾向は続くものと思われますので、中長期的な観点に立った学校施設の増改築、改修などを計画的に進めていく必要があります。

○市立幼稚園、小・中学校の園児、児童、生徒の推移 毎年5月1日現在

区分		平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年
幼稚園	園児数	573	551	563	552	542	563	587
	学級数	20	19	20	19	20	20	20
小学校	児童数	4,142	4,282	4,466	4,639	4,776	4,885	5,042
	学級数	165	165	172	177	183	188	189
中学校	生徒数	1,634	1,653	1,710	1,744	1,809	1,932	1,998
	学級数	54	53	53	56	60	62	64

(3) 学校給食センターの状況

本市においては、平成25年度現在、3箇所の学校給食センターを設置しています。

学校給食法（昭和29年法律第160号）の改正法（平成21年法律第53号）が平成21年4月に施行され、「学校における食育の推進」が位置づけられるとともに、栄養教諭が学校給食を活用した食に関する指導を充実することについて明記されました。

木津川市ではこれまで文部科学省の委託を受け、「栄養教諭を中心とした食育推進事業」に取り組んできましたが、今後も、系統的な食の指導を進めるとともに、食の安全性の確保や地産地消の推進等、学校給食を活きた教材として食育を推進していく必要があります。

○市立学校給食センター

区分	構造	運営方式	調理能力
木津学校給食センター	鉄筋コンクリート 造2階建	フルドライ システム	米飯 2,500 食 副食 5,000 食
山城学校給食センター	鉄骨造平屋建		米飯 2,400 食 副食 1,000 食
加茂学校給食センター	鉄骨造2階建		米飯 2,500 食 副食 2,500 食

(4) 社会教育施設の状況

本市には、社会教育施設として、公民館、図書館、各種スポーツ施設など数多くの施設を有しております、市民の学習・交流の場、体力づくりの場となっています。

豊かで活力ある地域社会を築き、心の豊かさや生きがいのある人生を送るためにには、市民一人一人が自主的、自発的に学習することができる環境整備が必要であり、今後もニーズの多様化・高度化に対応したサービスの提供が不可欠となっています。

また、ライフスタイルの多様化が進み、余暇時間の増大や健康への関心が高まる中、健康づくりや体力増進のみならず、地域コミュニティづくりにも重要な役割を果たしており、子どもから高齢者まであらゆる人が各段階において、生涯にわたり健康でいきいきと暮らせるような環境整備を進めていく必要があります。

○市立社会教育施設

平成25年5月1日現在

施設の種類	施設数	施設名
公民館	3	南加茂台公民館、瓶原公民館、当尾公民館
図書館	3	中央図書館、加茂図書館、山城図書館
文化ホール	2	加茂文化センター、山城総合文化センター
交流会館	3	中央交流会館、西部交流会館、東部交流会館
スポーツ施設	14	中央体育館、市民スポーツセンター、加茂体育館、木津グラウンド、兜谷公園、木津川台公園、梅美台公園、加茂グラウンド、赤田川グラウンド、塚穴公園、不動川公園、やすらぎタウン山城プール、上狹駅東公園、山城コミュニティ運動広場
その他の施設	8	加茂青少年山の家、加茂プラネタリウム館、加茂青少年センター、文化財整理保管センター、文化財整理保管センター分室、小谷上教育集会所、小谷下教育集会所、当尾の郷会館

(5) 文化財の状況

本市には、先人たちが培ってきた歴史や文化が脈々と受け継がれ、国宝や重要文化財に指定された数多くの有形・無形の文化財を有しています。特に、本市は府内において、京都市に次ぐ文化財の宝庫となっています。

また、歴史的な街並みや伝統的な祭礼などは、地域住民の活動により守られてきました。これら貴重な歴史的文化遺産を大切に保存し、次世代に継承するための取組が必要となっています。



のことから、身近にある地域の文化遺産を教材とした教育活動や生涯学習の場として活用する必要があります。

○指定文化財等の件数

区分	国指定	京都府指定	京都府登録	京都府決定	木津川市指定
有形文化財	建造物	19(3)	2	8	6
	絵画	3	2	1	3
	彫刻	26(3)	4	3	9
	工芸品	1	2	1	
	書籍典籍	2			
	古文書		1		3
	考古資料				3
	歴史資料		1		1
無形民俗文化財		1	1	5	1
有形民俗文化財			3		
史跡名勝天然記念物	6(1)	2			5
環境保全地域・地区				9	
合計	58(7)	15	21	9	31

備考 1 () は、重要文化財内の国宝数及び史跡名勝天然記念物内の特別指定数を内書き。

2 史跡名勝天然記念物には、2府県にわたるもの2件を含む。

第3節 子どもの学習や生活の状況

木津川市の子どもの一人一人が、たくましく成長していくためには、「質の高い学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよくはぐくむことが重要です。

そのためにも、本市の子どもたちの学習や生活に取り組む態度などを把握・分析するとともに、課題の検証を行い、改善を図る必要があります。

そこで、平成25年度全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生（木津川市777人）、中学3年生（木津川市603人））及び平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（新体力テスト）（対象：小学5年生（木津川市153人）、中学2年生（木津川市203人））の結果をもとに、本市の子どもの学習や生活の状況などを示します。

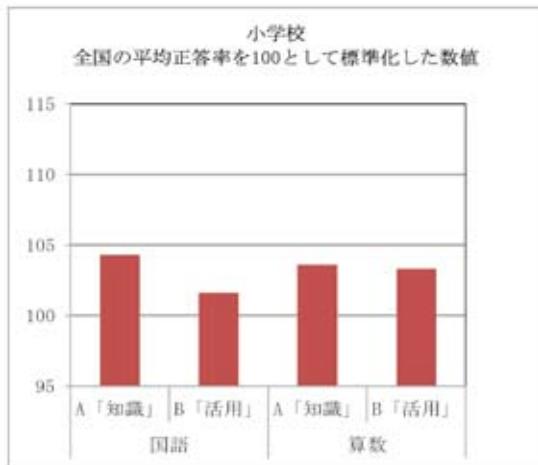
学力

本市の小・中学校の正答率は、国語A「知識」問題、B「活用」問題、算数・数学A「知識」問題、B「活用」問題のすべてにおいて、全国平均の正答率を上回っています。

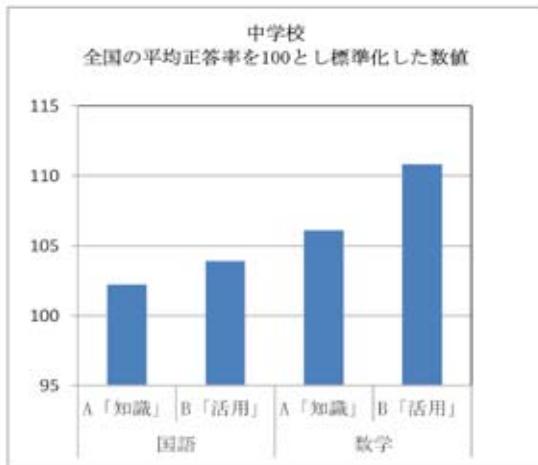
しかし、個々の児童生徒や学校に着目すると、基礎的・基本的な知識・技能を活用する力や活用のための思考力・判断力・表現力などに課題が見られます。

今後の学力の充実に向けては、学習意欲の向上と学習習慣の確立、基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用する力の育成を図っていくことが求められます。

小学6年生



中学3年生



*国語A、算数・数学A⇒基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題

*国語B、算数・数学B⇒基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題

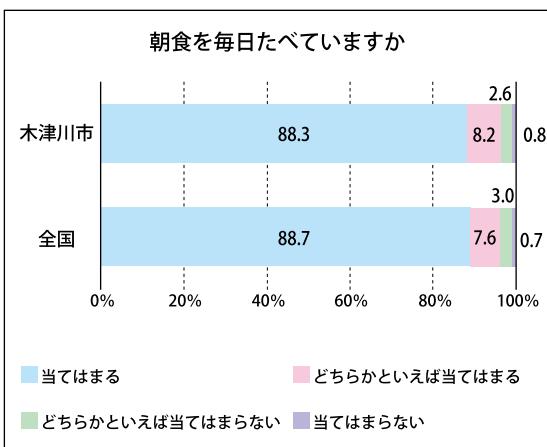
基本的な生活習慣

基本的な生活習慣が身に付いているかについては、「朝食を毎日食べている」「どちらかと言えば毎日食べている」と回答した小学6年生は96.5%で、全国とほぼ同様となっていますが、中学3年生は96.7%で、全国より2.9ポイント高くなっています。

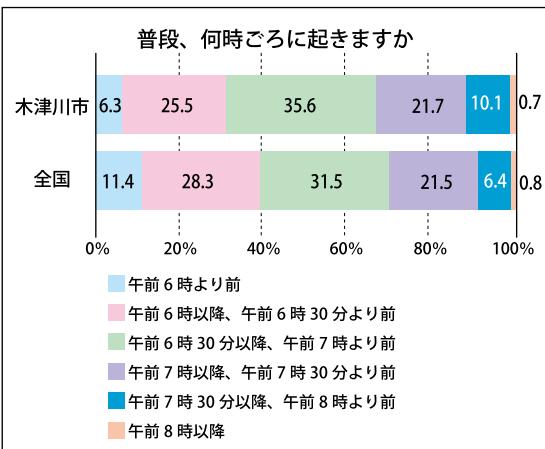
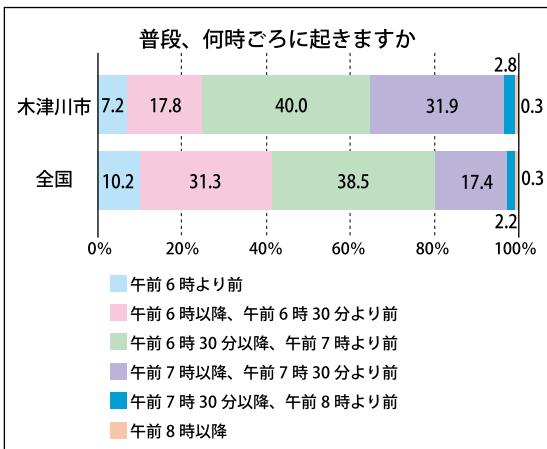
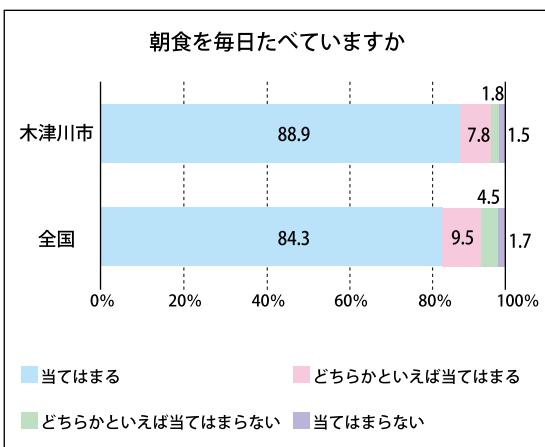
一方、「起床時間」は、午前7時までに起きると回答した小学6年生は65.0%で、全国より15.0ポイント低く、中学3年生においても起床時間は全国より遅い傾向が見られます。

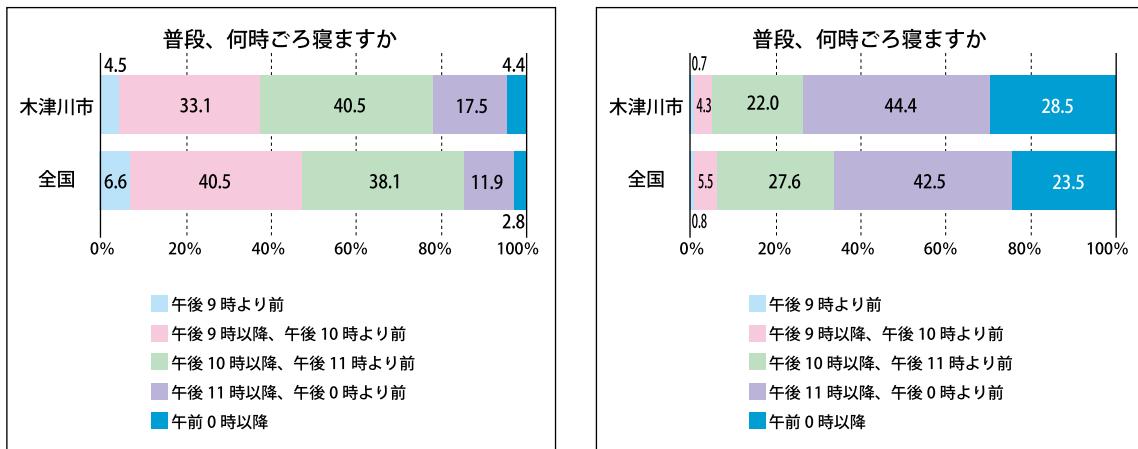
また、「就寝時間」は、午後11時までに寝る小学6年生は78.1%で、全国より7.1ポイント低く、中学3年生においても就寝時間は全国より遅い傾向となっています。

小学6年生



中学3年生





家庭での生活状況

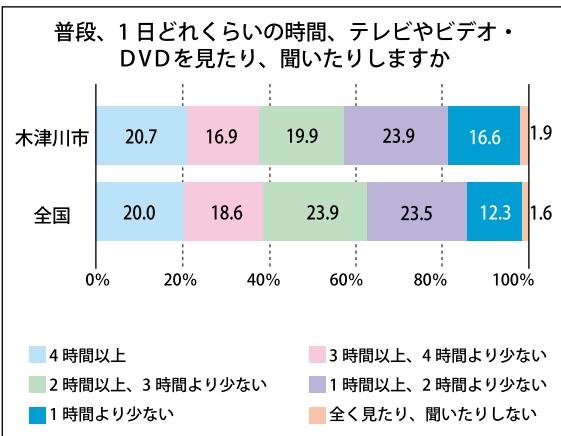
家庭での生活状況について、「1日のテレビ、ビデオ、DVDの視聴時間」は、4時間以上の小学6年生は20.7%と全国とほぼ同様となっていますが、中学3年生は12.6%で全国より1.4ポイント低くなっています。

「家の手伝い」は、よくしていると回答した小学6年生が34.7%で1.9ポイント、中学3年生は22.2%で1.4ポイント、いずれも全国より高くなっています。

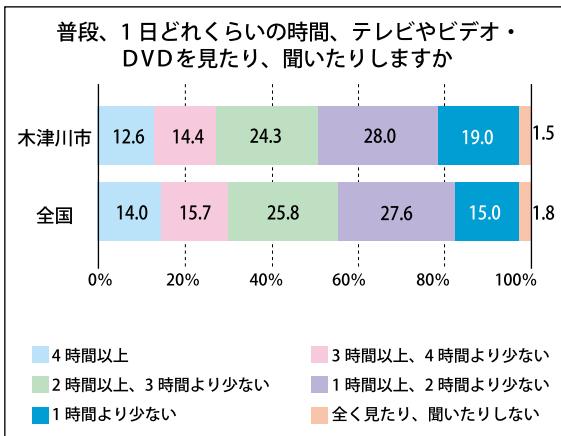
「1日のテレビゲームをする時間」では、3時間以上する小学6年生は14.5%、中学3年生は14.3%で、いずれも全国と同様の傾向となっています。

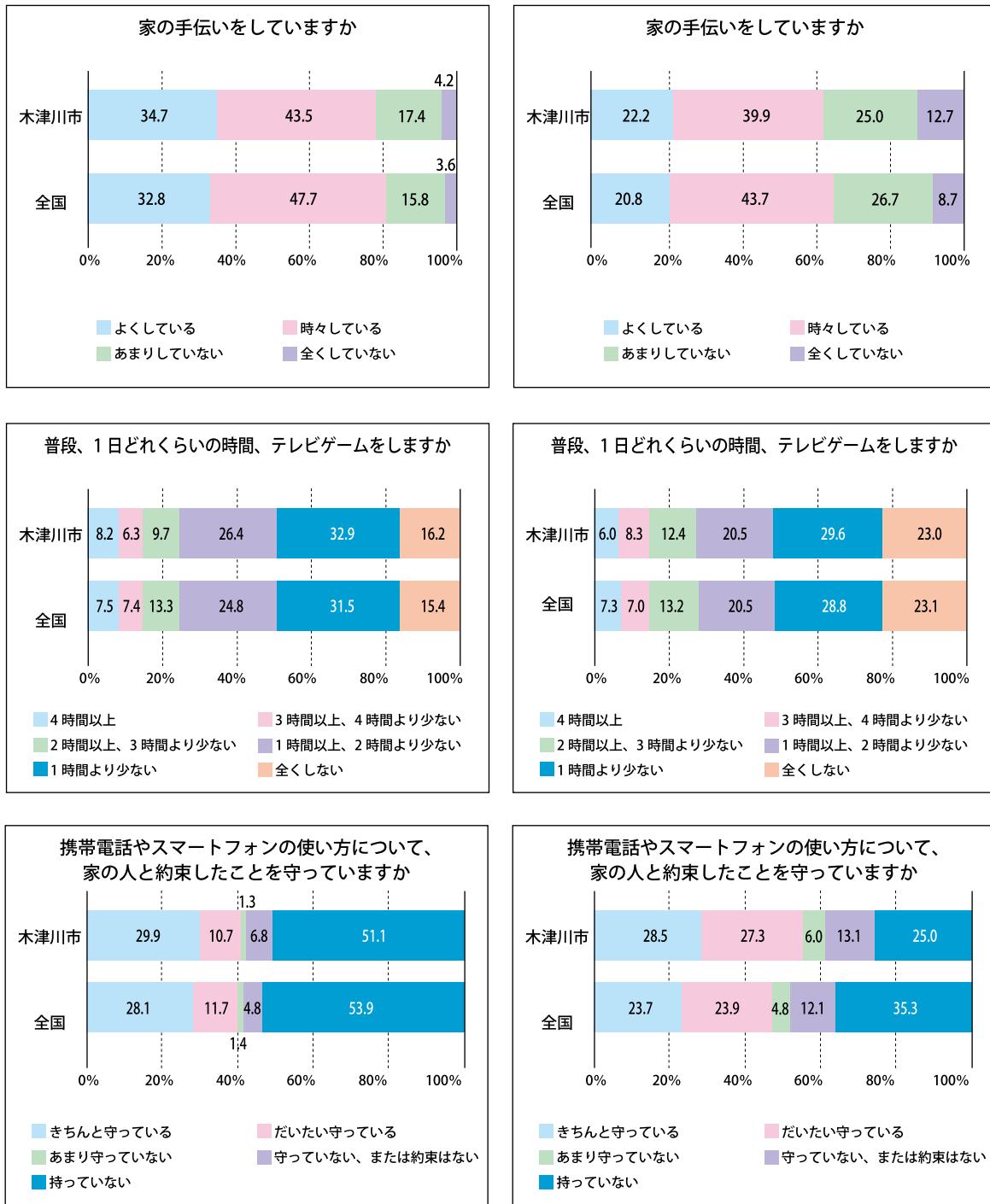
「携帯電話やスマートフォンの使い方」では、家人と約束したことを「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した小学6年生は40.6%、中学3年生は55.6%で、いずれも全国より高くなっています。

小学6年生



中学3年生





学校での生活状況

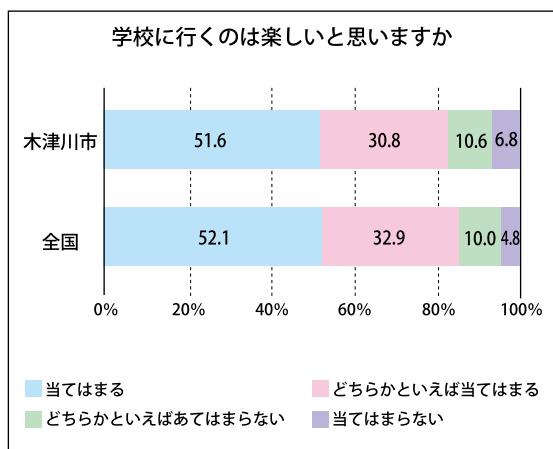
学校での生活状況について、「学校に行くのは楽しいか」の問いに、「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した小学6年生は82.4%で全国より2.6ポイント低くなっていますが、中学3年生は80.8%で、全国とほぼ同様の傾向となっています。

「学校で友人に会うのは楽しいと思いますか」の問いに、「楽しい」「どちら

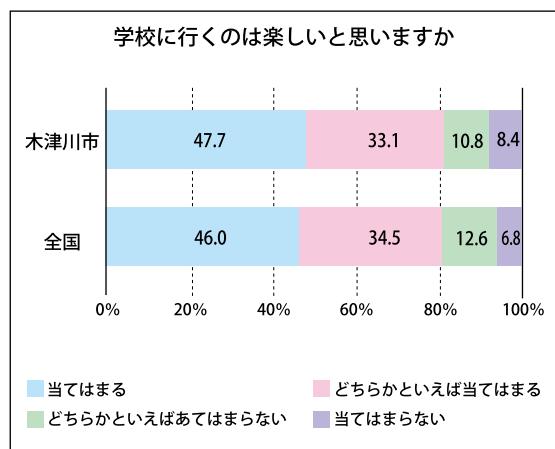
かといえば楽しい」と回答した小学6年生は96.7%、中学3年生は95.2%で、いずれも全国より若干高くなっています。

「学校のきまりを守っていますか」の問い合わせ、「守っている」「どちらかといえば守っている」と回答した小学6年生は88.5%で全国より2.1ポイント低く、中学3年生は94.2%で全国より1.7ポイント高くなっています。

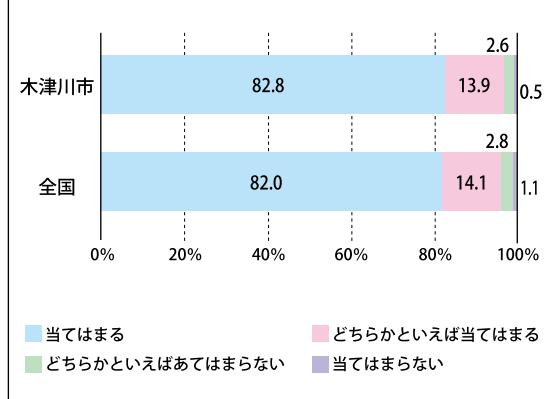
小学6年生



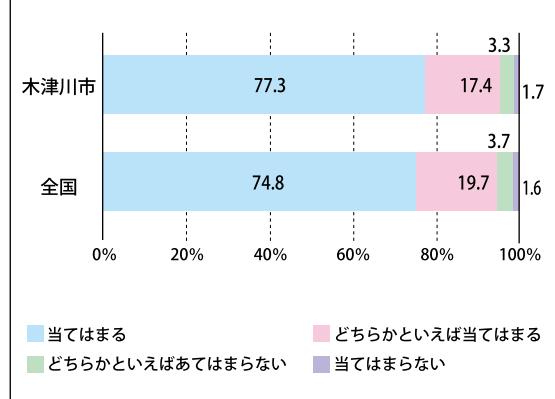
中学3年生



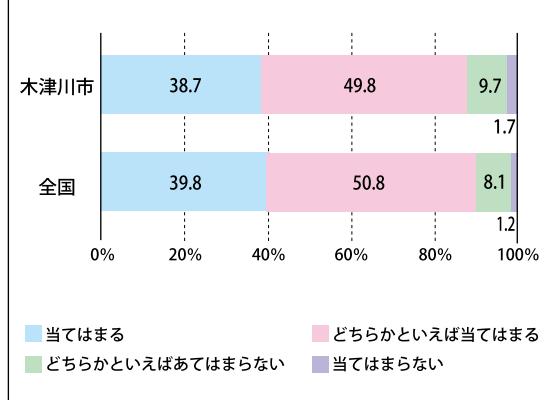
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか



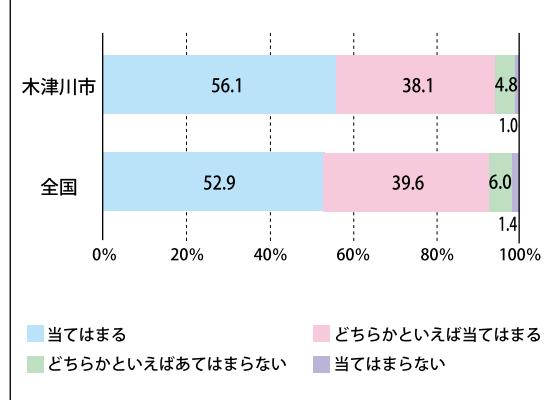
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか



学校のきまりを守っていますか



学校のきまりを守っていますか



家庭での学習状況

家庭での学習状況について、「学習塾に通っていない」という小学6年生は44.8%、中学3年生は31.6%で、いずれも全国より5.5、8.0ポイント低くなっています。

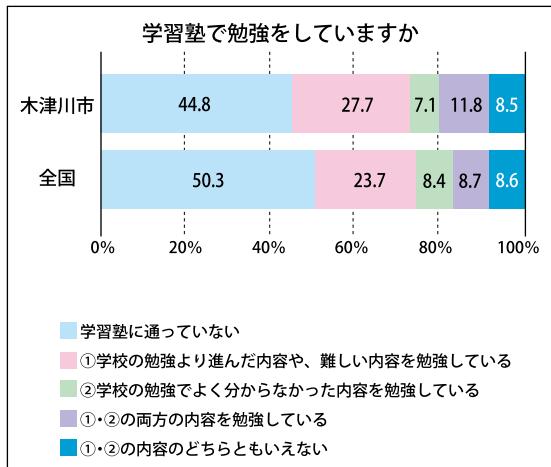
「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の問いに、「している」「どちらかといえばしている」と回答した小学6年生は58.7%で、全国とほぼ同様の傾向となっていますが、中学3年生は45.9%で全国より1.4ポイント高くなっています。

「家で学校の宿題をしていますか」の問いに、「している」「どちらかといえばしている」と回答した小学6年生は97.6%で全国より1.2ポイント高くなっていますが、中学3年生は82.3%で全国より4.5ポイント低くなっています。

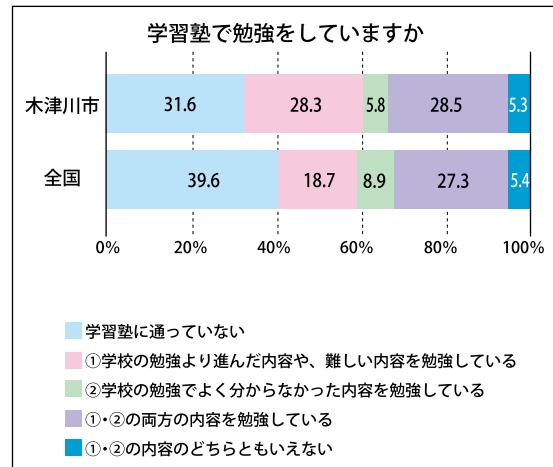
「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」の問いに、「全くしない」「30分より少ない」と回答した小学6年生が12.0%で、全国とほぼ同様の傾向となっていますが、中学3年生は15.7%で全国より1.0ポイント高くなっています。

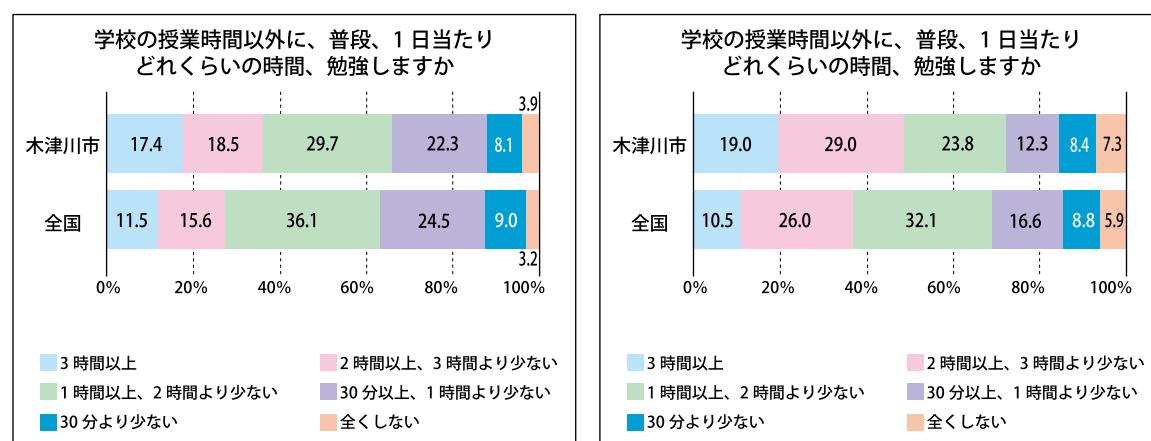
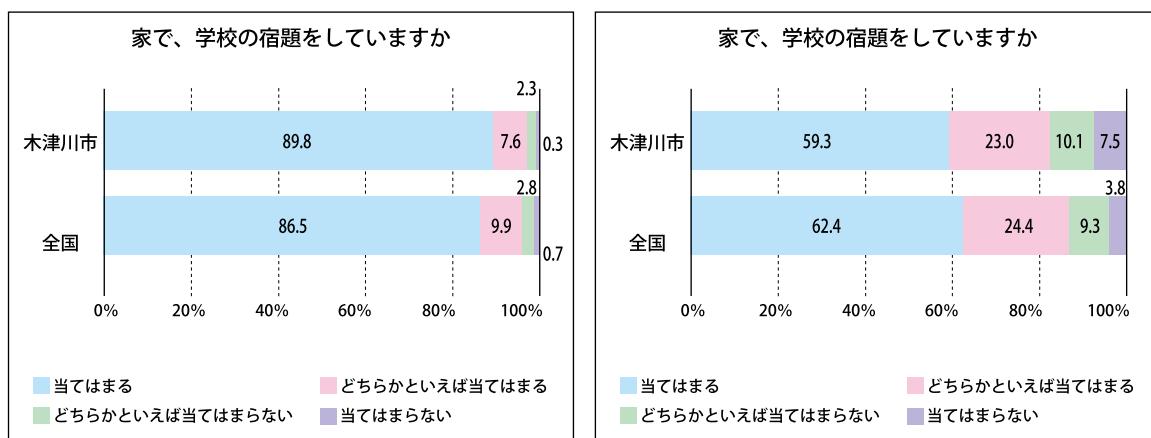
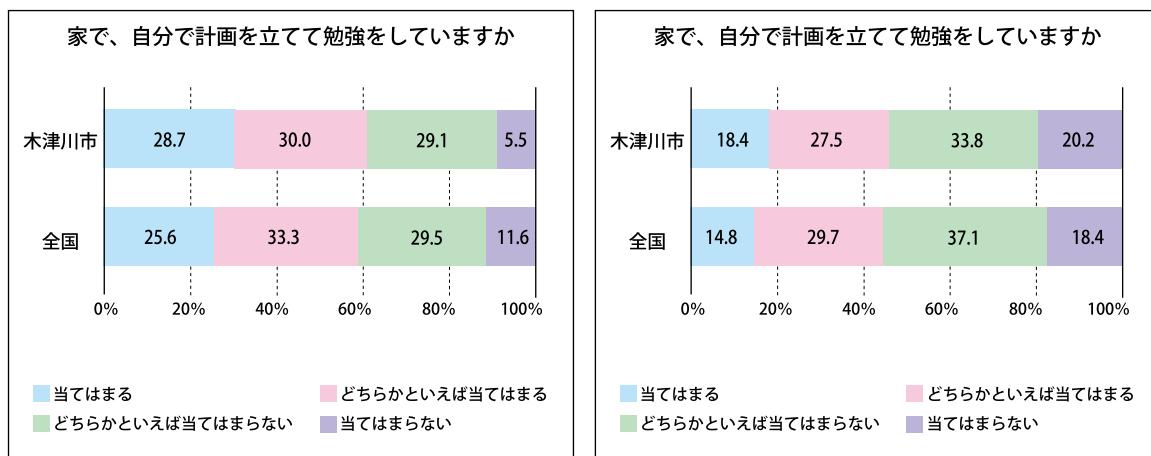
また、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の問いに、「全くしない」と回答した小学6年生が13.8%で3.0ポイント、中学3年生は14.9%で3.1ポイント、いずれも全国より高くなっています。

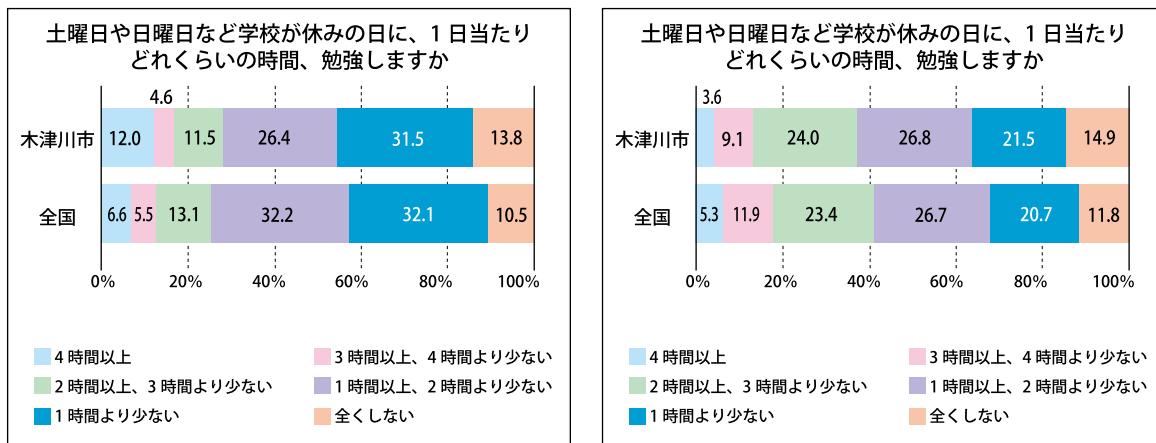
小学6年生



中学3年生







学校での学習状況

学校での学習状況について、「国語の勉強は好きですか」の問いに、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した小学6年生は54.7%で全国より3.2ポイント低く、中学3年生は43.0%で全国より14.7ポイントと大幅に低くなっています。

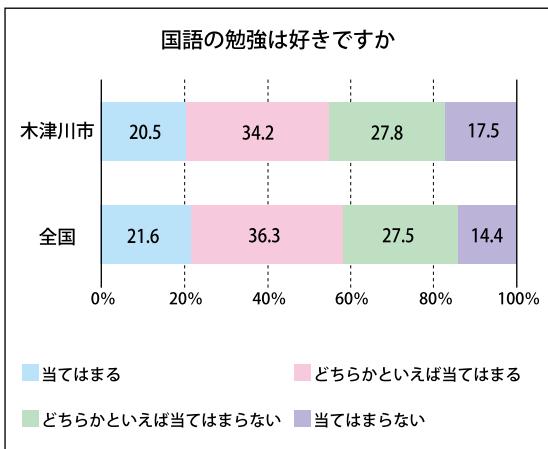
また、「国語の授業の内容はよく分かりますか」の問いに、「よく分かる」「どちらかといえばよくわかる」と回答した小学6年生は78.7%で全国より1.2ポイント低く、中学3年生では65.8%で全国より6.1ポイントと大幅に低くなっています。

一方、「算数の勉強は好きですか」の問いに、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した小学6年生は67.9%で全国より1.7ポイント高いですが、中学3年生では53.3%で全国より2.2ポイント低い状況になっています。

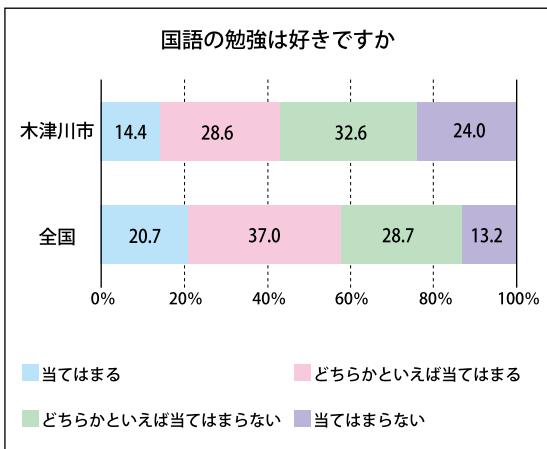
また、「算数の授業の内容はよく分かりますか」の問いに、「よく分かる」「どちらかといえばよく分かる」と回答した小学6年生は81.3%で全国より1.1ポイント高いですが、中学3年生は69.1%で全国より1.4ポイント低くなっています。



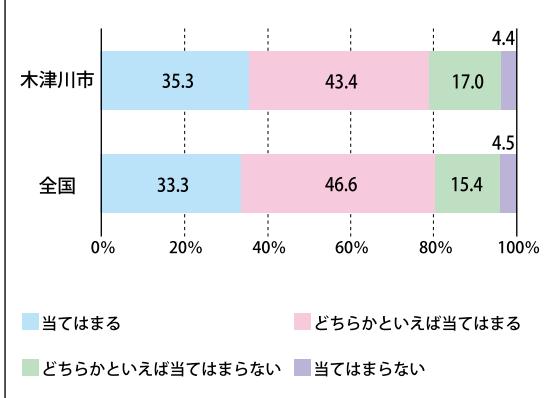
小学6年生



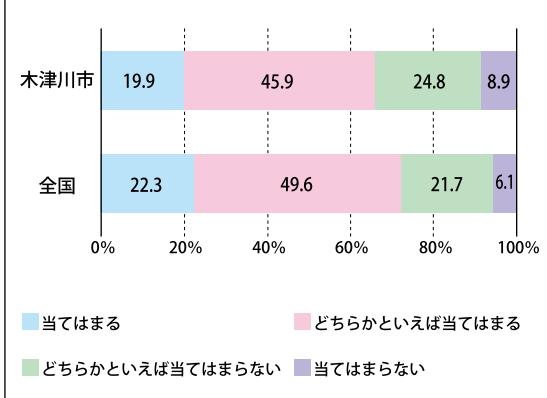
中学3年生



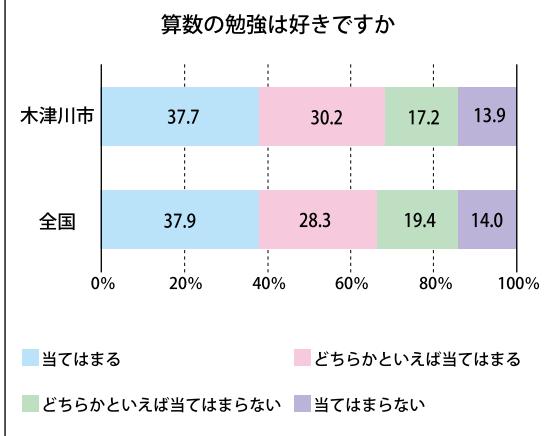
国語の授業の内容はよく分かりますか



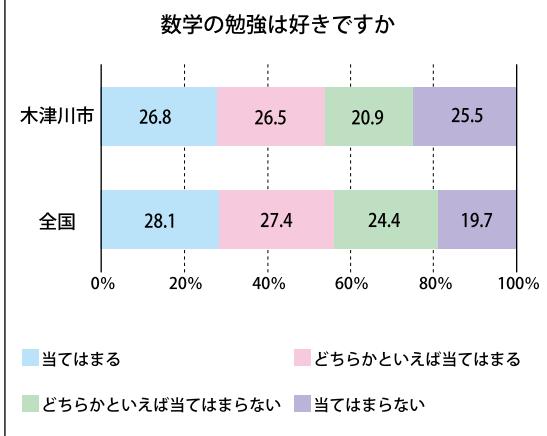
国語の授業の内容はよく分かりますか

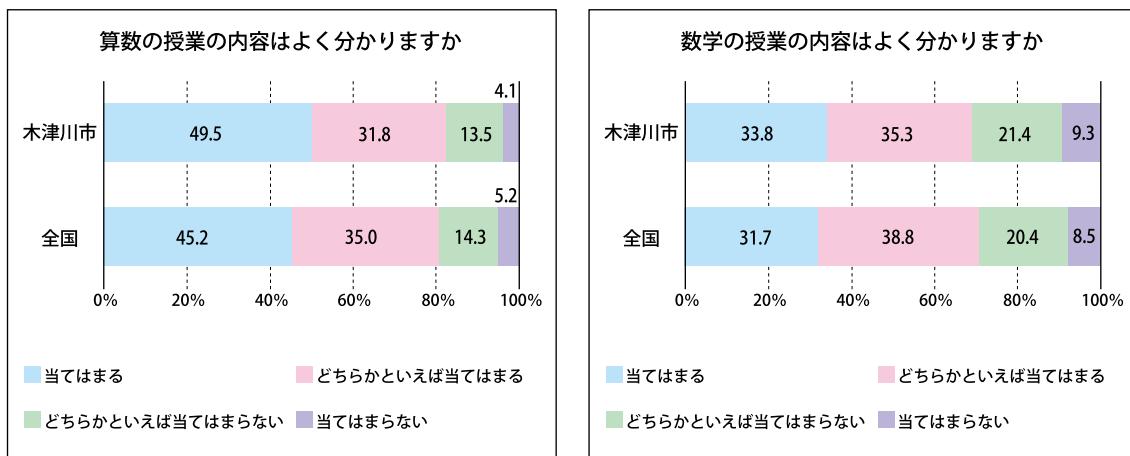


算数の勉強は好きですか



数学の勉強は好きですか



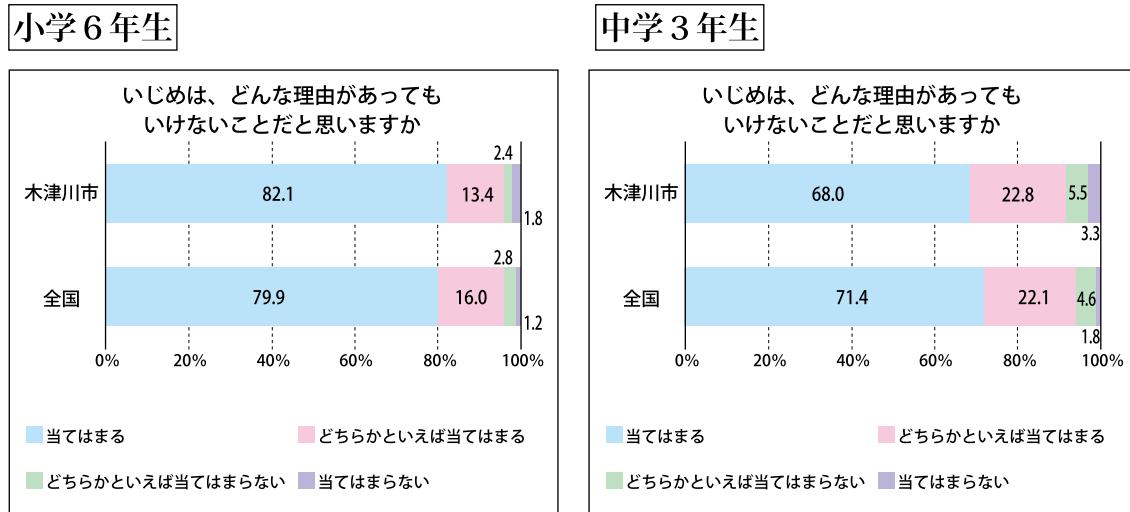


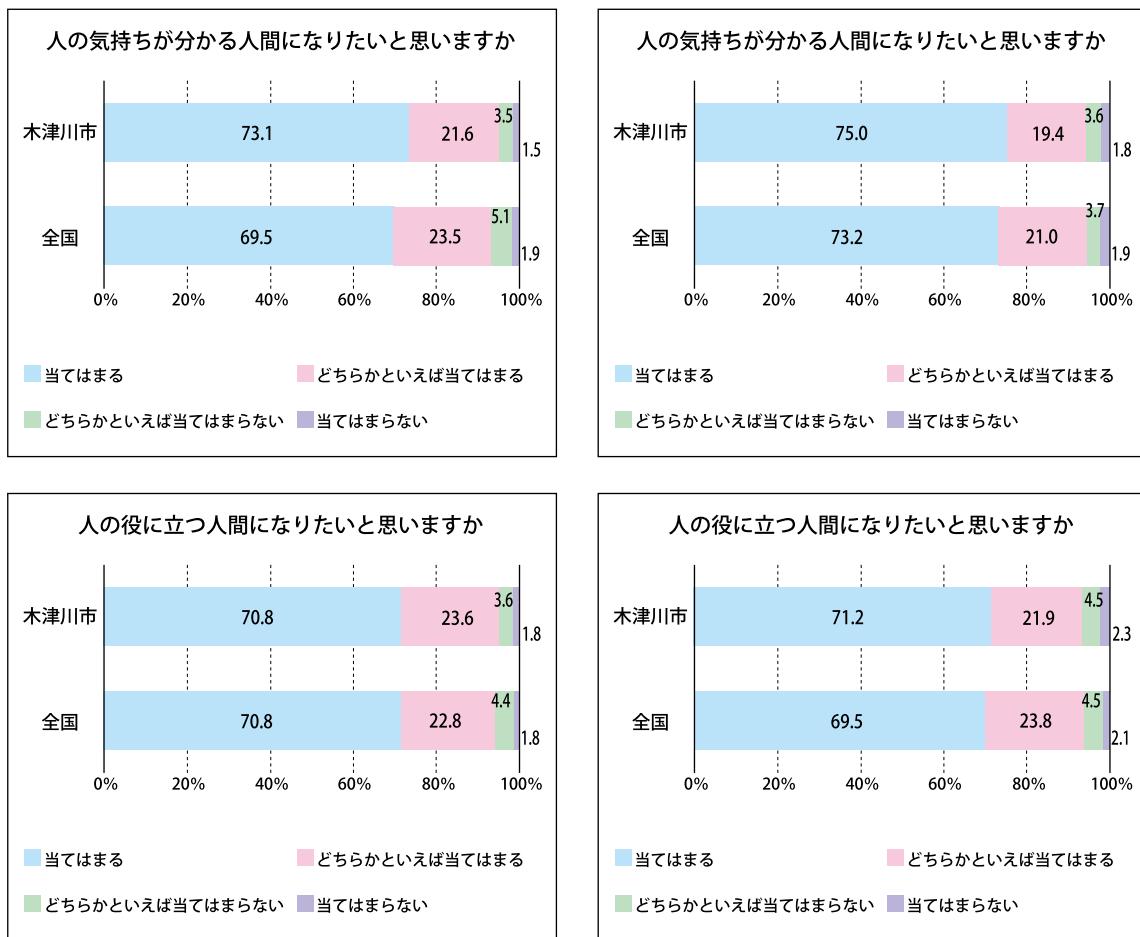
規範意識・道徳意識

規範意識や道徳意識では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」の問いに、いけないと回答した小学6年生は、82.1%で全国より2.2ポイント高く、中学3年生では68.0%で全国より3.4ポイント低くなっています。

また、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の問いに、なりたいと回答した小学6年生は、73.1%で全国より3.6ポイント、中学3年生は75.0%で全国より1.8ポイント、いずれも高くなっています。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに、なりたいと回答した小学6年生は、70.8%で全国と同じ割合となっています。中学3年生は71.2%で全国より1.7ポイント高くなっています。



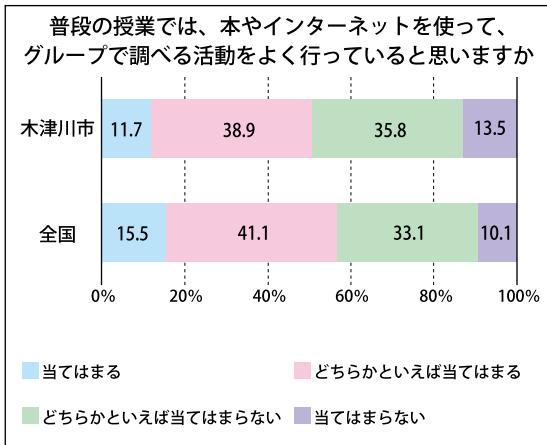


コミュニケーション能力

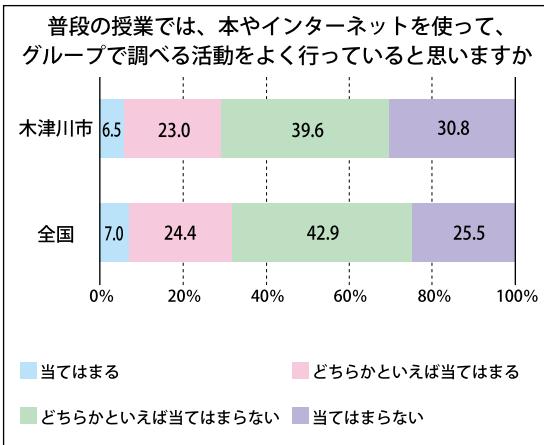
コミュニケーション能力では、「普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか」の問いに、「よく行っている」「どちらかといえばよく行っている」と回答した小学6年生は、50.6%で全国より6.0ポイント、中学3年生は29.5%で全国より1.9ポイント、いずれも低くなっています。

また、「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の問いに、「よく行っている」「どちらかといえばよく行っている」と回答した小学6年生は79.4%で全国とほぼ同様ですが、中学3年生は56.7%で、全国より8.0ポイントも低くなっています。

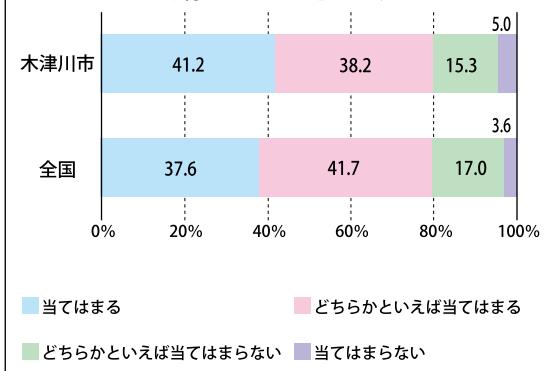
小学6年生



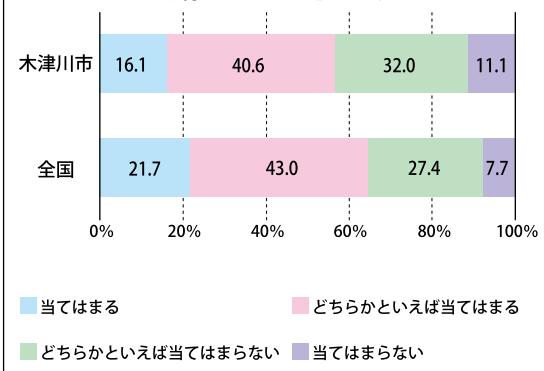
中学3年生



普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

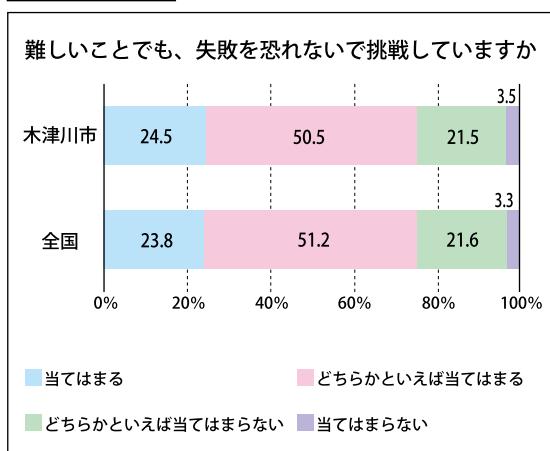


自尊意識

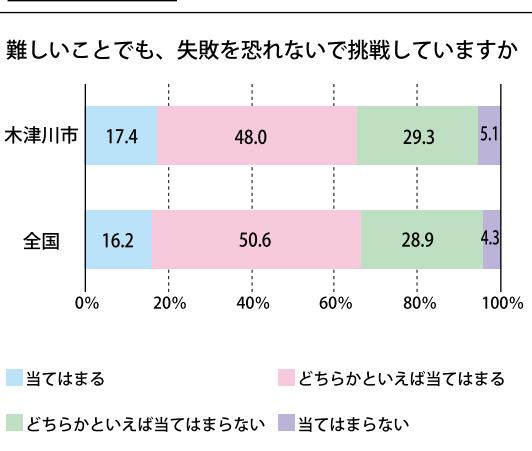
自尊意識では、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」の問いに、「挑戦している」「どちらかといえば挑戦している」と回答した小学6年生は75.0%と全国と同様ですが、中学3年生は65.4%で全国より1.4ポイント低くなっています。

また、「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに、「ある」「どちらかというとある」と回答した小学6年生は76.5%、中学3年生は66.1%で、全国とほぼ同様となっています。

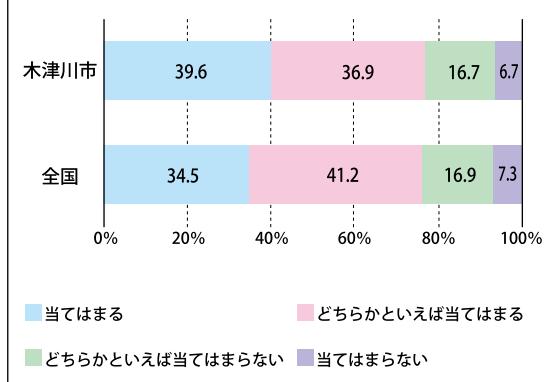
小学6年生



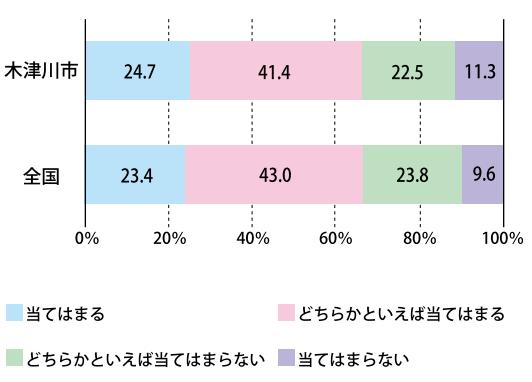
中学3年生



自分には、よいところがあると思いますか



自分には、よいところがあると思いますか



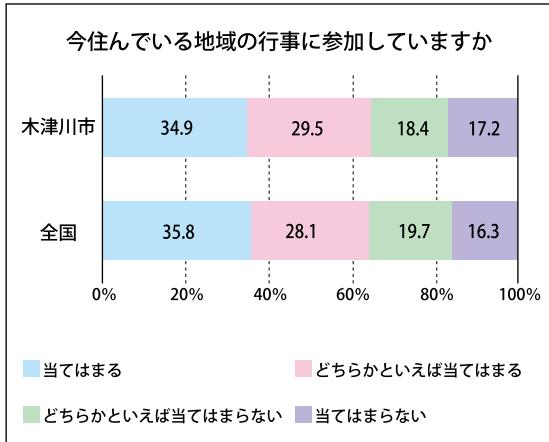
地域とのかかわり

地域とのかかわりでは、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いに、「参加している」「どちらかといえば参加している」と回答した小学6年生は64.4%で全国より0.5ポイント高いですが、中学3年生は38.8%で全国より2.8ポイント低くなっています。

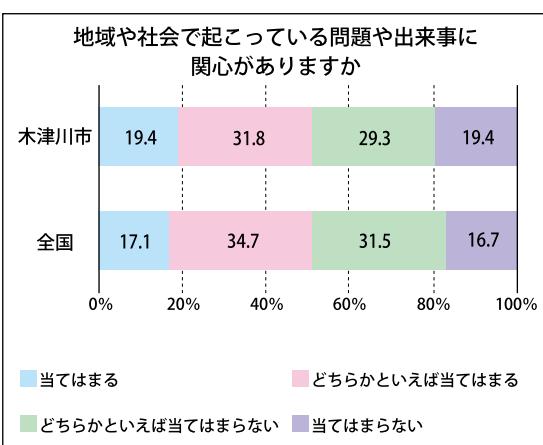
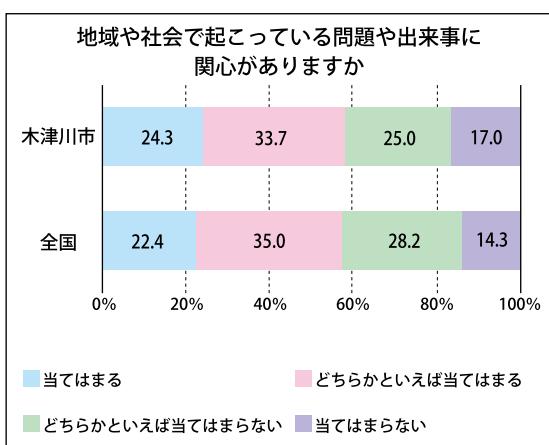
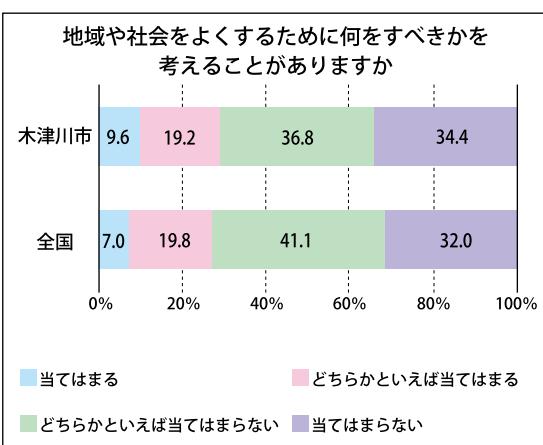
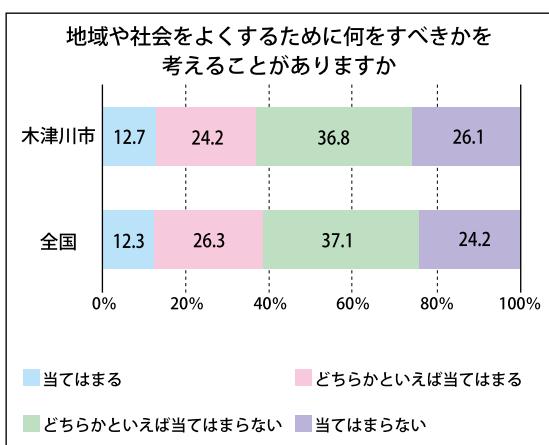
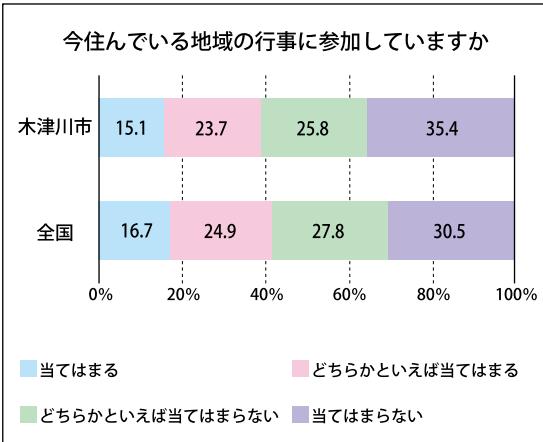
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか」の問いに、「考える」「どちらかといえば考える」と回答した小学6年生は36.9%で全国より1.7ポイント低いですが、中学3年生は28.8%で全国より2.0ポイント高くなっています。

また、「地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がありますか」の問いに、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した小学6年生は58.0%で全国より0.6ポイント高いですが、中学3年生は51.2%で全国より0.6ポイント低くなっています。

小学6年生



中学3年生



体力・運動能力、運動習慣

本市の小学5年生男子は、走力や投力で全国平均を上回っているものの筋力が、同女子は、筋力に加え、走力、投力が全国平均以下となっています。

また、中学2年生男子は、多くの種目で全国平均を上回っていますが、同女子は筋力と走力は全国平均を上回っているものの柔軟性と投力が全国平均以下

となっています。

運動が好きだと思っている割合は、小学5年生及び中学2年生いずれも全国平均を上回っていますが、特に中学2年生女子は全国平均を8.6ポイントも上回っています。

運動をもっとしたいと思っている割合は、小学5年生女子と中学2年生男子は全国平均とほぼ同じ割合となっていますが、小学5年生男子は1.2ポイント、中学2年生女子は3.9ポイント全国平均を上回っています。

中学2年生の運動部活動の加入率は82.1%と高く、特に女子は全国平均を14.8ポイントも上回っている状況です。

